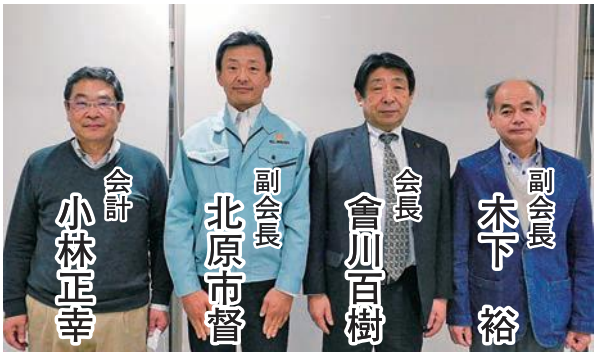
2023
vol.1
magazine
発行・編集
橋南まちづくり委員会
橋南公民館館報委員会
印刷
株式会社　秀文社

橋南

KYONAN magazine

まちづくり委員三役



まちづくり委員長

地区の顔　＝りんご並木＝

橋南まちづくり委員会 会長 會川百樹（かいがわもも き）

橋南まちづくり委員会会長に任ぜられました會川百樹です。

私は今まで飯田で34年、そして東京・埼玉・群馬・大阪・名古屋と様々な土地で暮らし、そこで色々な方々とのお付き合いの中から複雑な自治活動にも参加し飯田では味わえない事も経験しました。

この様な経験と帰飯後の自治会長17年の経験を併せ、橋南まちづくり委員会各委員会の皆様と共に、地域の方々だけでなく、多くの方々に知って頂ける魅力のある地域にしたいと考えます。

橋南といえばりんご並木が地区の顔です。世界に誇れるりんご並木を積極的に宣伝し、りんご並木の街飯田を全国的に少しでも大きく広める努力をしていきます。

公民館委員長

連合青壮年会長
本田賢司

主事 林　舞歩（まほ）

4月より主事としてお世話になっております林舞歩と申します。橋南公民館に異動してから2か月が経ちました。公民館や小学校など地区内でお声がけいただくことも増えてきて大変うれしく思います。橋南地区の皆様の温かさや明るさに元気をもらいながらすごす毎日です。

雨が降っていない日は自転車や徒歩でうろうろすることもありますので、見かけたらぜひお声がけいただけると嬉しいです。皆様に教えていただきながら色々なことにチャレンジしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

管理係 戸﨑佳代（かよ）

橋南地区の皆様、4月より管理係としてお世話になっている戸﨑佳代と申します。鼎中平より愛宕坂を上がり通っています。気持ち良く公民館を利用していただけるよう頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。

人口：男 1,138名　女 1,346名　計 2,484名　世帯数 1,193世帯（令和5年5月末現在）

将来構想実現のために　力を合わせて進もう

まちづくり委員会
会長：會川百樹　副会長：木下　裕・北原市督　会計：小林正幸　監事：古川光亮・松下耕司・鮎澤　潤
顧問：原　勉　橋南自治振興センター所長：小林和弘　事務員：山田志乃

総務部長：小林正幸　建設部長：寺沢　賢　社会教育部長：井原勝彦
福祉部長：武田紀幸　広報部長：木下　裕

自治運営委員会　正副会長・会計・各町区代表・各委員長
中心商店街連合会代表（近藤正隆）・追手町小ＰＴＡ会長（伊藤桐人）
橋南連合青壮年会会長（本田賢司）

中心拠点「橋南」のまちづくりのためめざす３つの柱

1. 歩いて暮らせる街をめざして
～市街地の魅力で
チャレンジできる街～
2. 人と人のつながりが強い街をめざして
～自治の力で誰もが
暮らしやすい街～
3. 伝統と文化の中心地をめざして
～彩り豊かな城下町と
りんご並木の街～

2019年３月決定　橋南地区将来構想

- **生活安全委員会**　交通安全及び防火防犯に関すること　他
（委員長：大倉辰彦　副委員長：徳永廣志）
  - **交通安全部**　街頭指導・交通安全教室・生活安全講演会・施設維持作業　他
（部長：徳永廣志　副部長：塩沢　篤・大倉辰彦・田中康之）
  - **防火防犯部**　防火防犯啓発活動・防犯パトロール・消防訓練　他
（部長：鈴木貴夫　副部長：髙島良治）
赤十字奉仕団橋南分団長・飯田市消防団第１分団長
- **環境委員会**　環境保全美化運動・ゴミ組成調査・リサイクルステーション活動・ラベンダー管理　他
（委員長：宮下勝吉　副委員長：辻村　章・萩元俊介）
- **健康福祉委員会**　健康増進予防活動　地域福祉に関すること　他
（委員長：大田中志保　副委員長：今牧好子）
  - **健康推進部**　健康講座・がん検診申込書回収・飯伊保健補導員大会・県保健補導員大会　他
（部長：大田中志保　副部長：横井いずみ）
  - **地域福祉部**　介護ふれあい相談会・芸能発表会・敬老会・赤い羽根法人募金・ホッカホッカ敬老会
ふれあいサロン　他
（部長：今牧好子　副部長：中島貴美子）　民生児童委員会
- **公民館**　社会教育活動・生涯学習各種講座・青少年育成活動・コミュニティスクール関連活動
丘の上５地区合同活動・まちづくり委員会主催事業への協力　他
（館長：齊藤一邦　主事：林　舞歩　管理係：戸﨑佳代）
  - **文化委員会**　史跡めぐり・人形劇フェスタ・芸能発表会・文化祭・文化講座　他
（委員長：吉澤充志　副委員長：北林明之・篠田典秀・宮内千晴）
  - **体育委員会**　ウォークラリー大会・ソフトボール大会・女性バレーボール大会・囲碁ボール大会
ニュースポーツ大会　他
（委員長：福澤伊代美　副委員長：田中秀樹・小木曽　武）
  - **館報委員会**　館報発行（委員長：田口勢季子　副委員長：平野由佳・安静俊祐）
  - **育成委員会**　子育て学習支援事業・しめ縄づくり・もちつき大会・書初め大会　他
（委員長：滝沢ひろみ　副委員長：村田雅展・阿部博晃）

橋南地区担当保健師：小池友子　主任児童委員：林　隆美
飯田市消防団第１分団　分団長：前島達也　副分団長：石原元一
赤十字奉仕団橋南分団　分団長：會川文子　副分団長：北原則子・鈴木治子
橋南地区民生児童委員会（11名）　会長：吉澤とも子　副会長：中村邦男・前澤雅子
橋南地区スポーツ推進委員：満澤　涼　橋南連合青壮年会会長：本田賢司
追手町小学校　学校長：曽我佳伸　教　頭：三浦克友　ＰＴＡ会長：伊藤桐人
飯田東中学校　学校長：滝澤勇一　教　頭：伊藤栄勇　ＰＴＡ会長：武井公徳

2022年度決算・2023年度予算

	2022年度決算	2023年度予算
歳入金額	14,334,986	12,590,000
歳出金額	11,564,204	12,590,000
差引金額	2,770,782	0

会計監査報告
監査の結果、正確適正に処理されていたことを認め、報告致します。
令和５年４月６日
監事　岩原克典 ㊞
監事　中島伸晃 ㊞

【歳　入】

項　目	2022年度決算額	2023年度予算額
会費	2,863,500	2,840,500
交付金	5,467,022	5,442,200
補助金	925,407	921,500
配分金	372,090	460,000
繰入金	0	0
繰越金	4,471,867	2,770,782
諸収入	235,100	155,018
計	14,334,986	12,590,000

【歳　出】

項　目	2022年度決算額	2023年度予算額
運営費	5,707,935	4,618,800
負担金・補助・交付金	640,150	667,000
委員会費	5,216,119	6,869,800
自治委員会費	626,271	870,000
生活安全委員会費	708,472	921,800
健康福祉委員会費	919,368	1,392,000
環境委員会費	996,309	1,245,000
公民館費	1,965,699	2,441,000
予備費	0	434,400
計	11,564,204	12,590,000

今号から「橋南を知る」と題して、橋南の名士や史跡を紹介します。初回は博物館の父として知られる「田中芳男」です。

橋南を知る

日本の博物館の父
田中芳男

田中芳男は天保9年（1838年）8月9日、飯田城下中荒町（現中央通り2丁目）にあった美濃国千村陣屋※の御典医、田中隆三の三男として生まれ、20歳になる前に千村陣屋の子弟千村五郎とともに名古屋に出た。のちに弟義廉（よしかど）を呼び寄せ、蘭方医で植物学者の伊藤圭介に師事した。ここで西洋医学、本草学、博物学などを勉強した後、一旦飯田に戻った。

文久2年（1862年）、師の伊藤が幕府の洋学研究機関「蕃書調所物産方」に招かれると、助手として芳男もこれに随従した。ここでは様々な海外から入ってくる学問を研究していたが、芳男は専ら物産所というところで物産学や本草学といった、ダイコン・ニンジン・ゴボウなどの日用産物の研究に従事していた。のちに伊藤が退任すると、芳男はその後任となった。

慶応元年（1865年）、幕府がパリ万国博覧会への参加を表明すると、芳男は昆虫標本の採集と製作を命じられ、博物学者の阿部為任（ためとう）とともに関東一円でこの採集製作に当たった。翌年パリに向けて出発し、慶応3年（1867年）に開催されたパリ万国博覧会に出張。現地の研究者から高い評価を得た。

明治維新を経て、大阪で理化学を専門に研究する「舎密局（せいみきょく）」の開設に従事した。明治2年（1869年）の開設までに芳男は、自然科学全般を研究する機関を目指して「博物館」の名称を提案し、植物園や温室といった施設の併設も構想していたが、残念ながら予算の関係で舎密局のみの開設となった。

翌年東京へ戻った芳男は、今日の経済産業省へと発展する「物産局」を創設する。また、これに前後して大小様々な物産会（殖産興業の博覧会）開催に度々関わっている。これらのことから芳男は、博物館・博覧会の父とも、動物園・図書館の父ともいわれる物産学者である。

明治6年（1873年）にはオーストリアのウィーンで開催された万国博覧会に出張した。

明治8年（1875年）、芳男は上野公園の設計に携わり、博物館と動物園を設置している。この年発刊された田中の訳纂『動物学初篇哺乳類』には、「綱、目、科、属、種」の訳語を用いており、今日も生物の分類階級として使用されている。

田中芳男と義廉の顕彰碑と
その隣に植えられた「田中ビワ」

農商務省博物局長を務めた後、省を退職して元老院議官、貴族院議員などを歴任。その後は農学と農林水産業の発展に貢献した。

大正4年（1915年）12月1日には男爵を叙爵。生涯、農林水産業や博物学の発展振興につとめた。大正5年（1916年）6月22日永眠。墓所は谷中霊園にある。

NHKの朝ドラ『らんまん』にて、主役槙野万太郎が憧れる植物学者、里中芳生は田中芳男がモデルとなっており、現在注目が集まっている。飯田市内では田中芳男を顕彰する活動が多く行われてきた。りんご並木には昭和55年に田中芳男の顕彰碑が建てられており、傍らには芳男が長崎から持ち帰って育成した品種「田中ビワ」が植えられている。2008年には田中芳男の生誕百七十周年と、飯田市美術博物館の開館二十周年を記念して、飯田市美術博物館に胸像が寄贈された。

なお、田中芳男の弟である為廉は、日本で最初の国語教科書「小学読本」の編纂者である。

※千村氏と中荒町の陣屋

『信州伊奈郡郷村鑑』等から、千村氏と中荒町の陣屋には次のような歴史がある。

江戸中期、飯田藩の領地は一時天領（朝廷直轄の領地）であった。元和3年（1617年）、脇坂公が入城するにあたり5万石を得ていたが、残りの4600石余りは美濃国久々利（現岐阜県可児市）の旗本千村氏の領地となった。この伊那の材木産地の村々を支配するために置かれた千村氏の陣屋（役所）が、最初は箕瀬町～羽場の当たりに置かれた後、飯田城下の中荒町（現中央通二丁目）に移されたとされている。

田中芳男はこの陣屋のお抱え医師、田中隆三の三男として誕生した。

昭和22年4月20日、街の一角から発生した火事は折からの強風に煽られて市街地の4分の3、60平方メートルを焼き尽くした。

「決して、この悲しみを繰り返してはいけない」という願いを込め平成20年頃から、追手町小学校PTAの有志により、子どもたちと「火の用心」の呼びかけが始まった。それから毎年4月20日前後の日曜日に「おひまち」として知久町～大横町～通り町～主税町～追手町～公民館まで、「火の用心」の掛け声をかけながら拍子木を打ち、地域防火の一役を担っている。

令和５年度 地震総合防災訓練が９月３日（日）に実施されます

必ずやってほしいこと！

①シェイクアウト訓練（安全行動訓練）

②指定避難所開設・運営訓練
（受付設置他レイアウトづくり・避難者受入）

③避難行動要支援者への避難支援訓練
（住民支え合いマップを活用した訓練）

「おひまち」 追手町小学校児童による防火標語

あぶないよ、ガソリンは 火の生みのおや　二年 ほりうち なぎさ
ストーブのまえに、せんたくものをおいたままに ねない
二年 たなか いっせい

火は、おうちの人といっしょにつかわないと あぶない
二年 あきしま さや

火あそびはきけんなこと、いのちにかかわる やめようね
三年 とまつ やまと

げんかんで、いったん止まって 火のチェック
三年 おおいし もなみ

火はけした？自分でかくにん 火のしまつ　三年 のむら はるき

花火とは、楽しさと危険が 混ざるもの　三年 しのだ けいしゅう

ちっちゃな火、風にふかれて 大火事だ
四年 阿部 水柚（みゆう）

大火事は、心も体も やきつくす
四年 村田 翔一（かいち）

火事をけす、しょうかき そうさおぼえよう　四年 澤井かずまさ

外出時、火の元かくにん 日ごろから　四年 加千須（かちす） 稀要（まれい）

お出かけ前、火のもと戸じまりかくにん もう一度
五年 岡島 莉叶（れいか）

「消しただろう」その油だんこそ 火事のもと　五年 大石 健蔵（けんぞう）

小さな炎、きをぬくと大きくなるよ 気をつけよう
五年 大平 羚央（れお）

「消したから」ほんとにそれは 消したのか？　五年 柴田 りの

でかける前、いそいでいても チェックしよ　六年 本間 日葵（ひまり）

忘れるな、飯田の悲劇 もうにどと　六年 吉田 葵依（あおい）

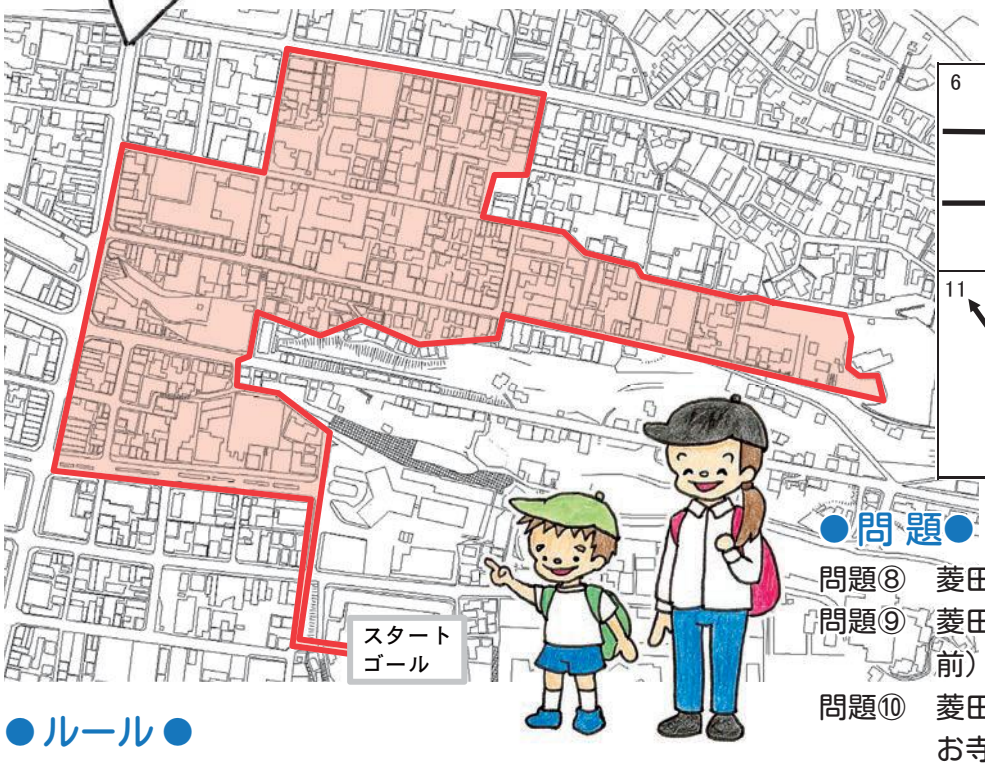
気を付けて、少しの油断が 命取り　六年 矢澤 空來（そら）

火事のもと、けしたかみよう しっかりと　六年 外松 莉乃（りの）

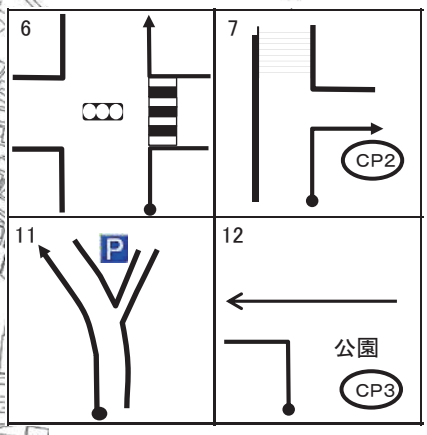
気をつけて、一つのミスが 火事を生む　六年 坂田 蓮（れん）

第37回 橋南ウォークラリー大会

5月28日（日）第37回橋南ウォークラリー大会が行われました。



コマ図



●問題●

今年度実際に使われた問題です

問題⑧　菱田春草の生年月日は？

問題⑨　菱田春草の幼名（小さい時の名前）は？

問題⑩　菱田春草のお墓は柏心寺というお寺にありますが、柏心寺の副住職は次のうちどれでしょう？

①
②
③

●ルール●

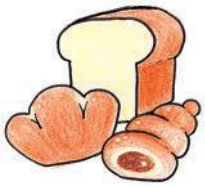
「コマ図」と呼ばれるコース地図をもとにチェックポイントの問題を解きながらコースを歩きます。

ウォークラリーは速さを競うものではありません。設定時間により近い時間でゴールしたチームほど高得点になります。時間得点と問題得点の合計で順位が決まります。

●スタンプも集めよう●

林さん親子

●こんな賞品がもらえるかも…●



詳しいコースや問題はこちらから⬇

来年はぜひ みなさんもご参加下さい！

KYONAN イベント

橋南夏まつり

7月16日（日）

りんご並木にて

追手町小学校入学式 赤門通過式

令和5年4月6日

みなさんよろしく

追手町小学校１年
担任 金子結衣

春満開の4月、今年も追手町小学校にピカピカの1年生が入学しました。男子11名、女子13名、計24名のにこにこ笑顔がかわいい子どもたちです。入学式では、一人ずつ校長先生に名前を呼ばれ、「はい！」と元気な返事をすることができました。期待に輝く瞳とやる気に満ち溢れた心で、どんなことも一生懸命に挑戦する子どもたちです。多くの友だちやお兄さんお姉さん、橋南地区の皆様と関わりながら、元気いっぱい成長していくことと思います。

新しい校長先生 新しい教頭先生

たくさんの出会いをつくっていけたら

飯田東中学校
校長 滝澤勇一

昨年度まで2年間、合同庁舎の5階にある南信教育事務所飯田事務所に勤務していました。そこで「日課」(!?) にしていたのが、「ブラ丘の上」でした。昼休みに今まで歩いたことのない道を歩いてみる中で「ここにこんなものがあったんだなぁ」そんな発見がありました。ただ、まだまだ自分の知らないもの、見えないことは、きっといっぱいあるはずです。自分の足で歩いて、そしてそこでの出会いを通してたくさんの素敵な発見をしていけたらなぁ…と思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

学校のよさを誇りに持って

追手町小学校
教頭 三浦克友

4月より、追手町小学校でお世話様になっております、「三浦克友（かつとも）」と申します。昨年度、150周年を迎えた、この伝統ある追手町小学校に赴任することができ、大変嬉しく思っております。先日、子どもたちに「追手町小の自慢（宝物）」について聴いてみました。すると子どもたちは、「美しい校舎・歴史がある・廊下が長い・歌声がきれい・掃除の集中力」という宝物を教えてくれました。子どもたち自身が、追手町小学校のよさを誇りに思っていて、素晴らしいなと感じました。そんな素晴らしい子どもたちを、地域の皆さんと一緒に育んで参りたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

編集後記

第1号「橋南マガジン」を発刊することが出来ました。ありがとうございました。

今までは、まちづくり委員会に広報部があり、公民館では館報委員会があり、それぞれ新聞を発刊していましたが、今回より合同での新聞作りとなりました。年に5回の発刊となりますが、今まで以上に、橋南地区の皆様に愛されるような、魅力のある新聞にしていきたいです。皆様、第2号をお楽しみに！

（木下）